

(広報資料)

平成19年11月5日

文化市民局

〔担当：文化芸術都市推進室  
文化芸術企画課 222-4105〕

## 第208回市民狂言会の開催について

京都市主催の市民狂言会は、昭和32年5月に第1回を開催して以来、多くの市民の皆様にご覧になってきました。今回も、大蔵流茂山社中により、多彩な演目をご覧いただけますので、お知らせします。

### 記

- 1 日時 平成19年12月19日(水) 午後7時開演  
※午後6時30開場、終演予定午後8時45分
- 2 会場 京都観世会館(左京区東山仁王門東入 TEL:771-6114)
- 3 番組
- (1) 狂言こぼれ話(87) お話:茂山千之丞<sup>せんのかみ</sup>  
狂言師・茂山千之丞が、これから始まる狂言を分かりやすくお話しします。

- (2) 「文相撲」(ふずもう)  
大名 茂山逸平  
太郎冠者 網谷正美  
新参の者 茂山良暢  
(後見) 鈴木実

エエ格好シーの大名が新規採用の家来との大一番。  
さて、相撲の「虎の巻」の効能や如何に？

- (3) 小舞 「貝尽し」(かいづくし)  
茂山あきら  
(地謡) 井口竜也  
茂山千之丞  
増田浩紀  
鈴木実

神話能「玉の井」のアイ狂言で舞う。  
十を越す貝の名前をちりばめた祝言の一曲。

(4) 「貰簞」 (もらいむこ)

夫 茂山千五郎  
女房 丸石やすし  
舅 茂山千作  
(後見) 井口竜也

それ言うじゃありませんか、  
「夫婦喧嘩は犬も食わぬ」と。

(5) 「千鳥」 (ちどり)

主人 山口耕道  
太郎冠者 茂山忠三郎  
酒屋の亭主 茂山千之丞  
(後見) 増田浩紀

溜まりに溜まった酒屋のツケ。そんな店へ酒を買い  
にやらされた太郎冠者の苦心譚。

附祝言 (つけしゅうげん)

- 4 入場券 前売券 2, 500円  
当日券 3, 000円  
団体券 2, 200円 (20名以上)  
全席自由席
- 5 前売券取扱 京都観世会館, 大丸京都店, 高島屋京都店, ポルタ, 京都会館,  
京都芸術センター (団体券は京都芸術センターのみ取扱)  
平成19年11月5日 (月) 販売開始予定
- 6 主催 京都市
- 7 備考 やむを得ず演目, 演者を変更する場合があります。
- 8 問合せ先 京都芸術センター TEL: 213-1000